

作成日 令和6年6月3日

令和 6年度 施行

# 祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

( 農 林 課 土 地 改 良 係 )

公示用

## 特記仕様書（測量）

### 1 総 則

本業務の実施に関しては、本特記仕様書によるほか、北海道農政部制定の「調査測量設計業務共通仕様書」及び関係法規・規則等を遵守して行うものとする。

### 2 一 般

#### 2-1 概数

業務数量総括表の「摘要」欄等に「概数」と記して示した数量は概数であり、数量が確定できない場合を除き、履行前に数量を確定することとし、必要に応じて設計変更する。

なお、過大な出来高に対して変更するものでないことに留意すること。

概数にかかる業務の実施にあたっては、必要に応じて資料等を作成のうえ、業務担当員と着手前に十分協議をすること。

#### 2-2 打合せ ～ 該当なし

#### 2-3 関係機関打合せ協議 ～ 該当なし

### 3 工程関係

調査区域においては営農時期と重なるため、受益者と打合せのうえ、測量業務の工程を検討し調査を行うこと。

### 4 測量関係

#### 4-1 地元関係団体 ～ 該当なし

本業務を進めるにあたっては、次の地元関係官庁と調整を図り実施すること。

#### 4-2 精度管理

本業務において測量成果の精度及び品質について確認のため点検測量を行うものとする。  
 なお、点検測量率は次のとおりとする。（精度管理表を作成すること。）

測 量 種 別	点検 測量率	測 量 種 別	点検 測量率
1・2級基準点測量	10%	中心線測量	5%
3・4級基準点測量	5%	仮BM設置測量	5%
3級水準測量（レベル等による）	5%	縦断測量	5%
簡易水準測量（レベル等による）	5%	横断測量	5%
地形測量・写真測量	2%	深淺測量	5%
線形決定	5%	航空レーザ測量	5%
1・P設置測量	5%		

#### 4-3 機械器具の検定

本測量作業に使用する長さ測定 of 機械（鋼巻尺、インパール標尺、光波測距儀等）の検定を行うものとし、検定については、北海道公共測量作業規程に定める測量機器の検定に関する技術を有する第三者機関が行い発行する証明書を成果品に添付して提出する。

#### 4-4 成果品の検定

本測量作業の成果品は、北海道公共測量作業規定に定める測量機器の検定に関する技術を有する第三者機関における審査を受け検定証明書を成果品に添付するものとする。

測量作業名	4級基準点測量		
-------	---------	--	--

#### 4-5 貸与資料等 ～ 該当なし

#### 4-6 収集資料等 ～ 該当なし

#### 4-7 関連業務 ～ 該当なし

## 5 測量条件

### 5-1 測量基本条件

測量作業における基本条件は次のとおりである。

項目	基本条件
	数量総括表のとおり

### 5-2 測量特記条件 ～ 該当なし

### 5-3 測量作業の留意点

【路線測量（農道・排水・営農用水・畑地かんがい）】

測量作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 線形決定 ～ 該当なし
- (2) IP設置測量 ～ 該当なし
- (3) 中心線測量
  - ① 中心杭の間隔は、原則として業務数量総括表のとおりとし、地形の変化点等必要に応じて追加点を設置するものとする。
  - ② 杭打ちが不可能な所では、固定物に打針等を行い示すことができるが、この場合には固定物の近くに杭を打設し、名称等を付記して目視確認が十分にできるものとする。
- (4) 仮BM設置測量～ 該当なし
- (5) 縦断測量  
縦断面図の縮尺は、縦S=1/1000、横S=1/100とする。
- (6) 横断測量
  - ① 中心杭の間隔が著しく短く、かつ横断形状の変化の少ない場合は、業務担当員の承諾を得て、その中心杭地点の横断測量を省略できるものとする。
  - ② 横断測量の縮尺はS=1/100とする。
- (7) 現地測量  
現地測量の地図情報レベルは1000とする。
- (8) 基準点測量  
本測量成果の検定については、北海道公共測量作業規程第15条を適用する。

## 6 その他 ～ 該当なし

### 6-1 モバイルワークに関する試行

農業農村整備事業の円滑な実施のため、「農業農村整備事業のモバイルワークに関する試行要領（令和2年7月）」（以下「試行要領」という。）に基づき、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を使用して、下記における業務を行うことができるものとする。

【適用業務】

ワンデーレスポンス・立会・打合せ・設計基本条件検討会・三者技術検討会・検査※

本試行を行う場合は、実施可能な通信環境を確保できる委託業務にて、委託者・受託者との協議により、試行要領の内容に承諾したうえで実施するものとする。

なお、映像と音声の配信に必要な機器及び通信費は委託者・受託者の双方が負担する。

※受託者において新型コロナウイルス感染者発生の可能性が疑われる場合など、検査の立会が困難であるときに限る。

### 6-2 その他 ～ 該当なし

## 7 成果品

### 7-1 提出すべき成果品

成果品の内容は、別紙「成果品の名称及び数量」によるものとし、完成時に「成果品目録」と名称を変更して提出すること。

また、成果品の納品形態が電子の場合は、備考欄に電子媒体の種類（CD-R・DVD-R等）を記載すること。

### 7-2 電子納品

(1)本業務は電子納品対象業務とする。

電子納品の運用にあたっては、「農業農村整備事業電子納品運用の手引き（案）【業務編】」（以下「手引き」という。）に基づくものとし、業務担当員と協議のうえ、電子化の範囲等を決定しなければならない。

(2)成果品は、「設計業務等の電子納品要領（案）（農林水産省農村振興局、平成31年3月）」（以下、「要領」という。）に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R・DVD-R等）で正副2部提出する。

「手引き」及び「要領」に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「手引き」及び「要領」の解釈に疑義がある場合は業務担当員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。なお、電子化の困難な資料及び打合せ簿、委託業務月報の押印された書類について、紙又は原図による成果品を1部納品する。

また、A3判縮小の設計図を1部紙で納品する。

(3)成果品の提出の際には、電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）によるチェックを行い、「要領」に準拠していることを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

## 8 設計変更

契約書第17条から第18条及び測量業務共通仕様書1-1-24の2の（3）に規定する委託者と受託者に規定する協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 5 測量条件に示す「測量条件」に変更が生じた場合。
- (2) 業務数量総括表に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 2-2に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 7-1に示す「成果品」に変更が生じた場合。
- (5) 関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合。
- (6) その他
- (7) (1)～(6)に伴い、業務期間の変更が生じた場合。

## 特記仕様書（設計）

### 1 総則

本業務の実施に関しては、本特記仕様書によるほか、北海道農政部制定の「調査測量設計業務共通仕様書」及び関係法規・規則等を遵守して行うものとする。

### 2 一般

#### 2-1 概数

業務数量総括表の「摘要」欄等に「概数」と記して示した数量は概数であり、数量が確定できない場合を除き、履行前に数量を確定することとし、必要に応じて設計変更する。

なお、過大な出来高に対して変更するものでないことに留意すること。

概数にかかる業務の実施にあたっては、必要に応じて資料等を作成のうえ、業務担当員と着手前に十分協議をすること。

#### 2-2 打合せ

設計業務共通仕様書1-1-11による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

項目	作業段階	打合せ場所	備考
着手時	設計作業着手時	芽室町役場農林課	主任技師、技師A、技師B
中間	設計作業計画作成後	//	主任技師、技師A、技師B
最終	成果品内容の確認時	//	主任技師、技師A、技師B
合計	3回		

2-3 関係機関打合せ協議      ～ 該当なし

2-4 中間検査      ～ 該当なし

2-5 設計基本条件検討会      ～ 該当なし

2-6 地元聞き取り      ～ 該当なし

3 工程関係      ～ 該当なし

### 4 設計関係

4-1 地元関係団体      ～ 該当なし

4-2 貸与資料等

貸与資料等は下表のとおりであり、契約書に定める期間内に受領書を提出のこと。  
特に定めない場合の引き渡し時期は打合せの上決定し、返却は完了検査時以前とする。

分類	貸与資料	数量	備考
計画資料	祥栄地区 祥栄第2幹線明渠排水路機能保全計画	1部	

貸与資料の管理は契約書に定めるものとする。  
また、貸与資料は本業務以外のために複写及び複製をしてはならない。なお、本業務のために複写及び複製をした資料は、別途指示するものを除き、業務終了後直ちに抹消、消却、裁断等の方法により廃棄処分すること。

4-3 関連業務      ～ 該当なし

## 5 設計条件

### 5-1 設計基本条件

農業水路等長寿命化・防災減災事業 排水路の更新実施設計  
設計作業における設計基本条件は次のとおりである。

項目	計 画 内 容			
排水路実施設計	路線延長	L= 500	m	(更新実施設計)
	計画排水量	Q= 7	m <sup>3</sup> /S	(測点 SP0.00~SP581.60)
現地踏査 近接目視 機能診断		Q= 4	m <sup>3</sup> /S	(測点 SP581.60~3,840.00)
	対象延長	L= 500	m	
	近接目視	L= 11,700	m <sup>2</sup>	
	対象延長	L= 500	m	
	対象工種	開水路		
	問診診断	L= 500	m	一式
	健全度診断	L= 500	m	一式

5-2 設計特記条件 ~ 該当なし

### 5-3 設計作業の留意点

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (2) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に業務担当員の承諾を得るものとする。
- (3) 共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受託者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (4) 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- (5) 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、とりまとめるものとする。
- (6) 数量計算に当たっては、「工事数量算出要領」及び「農業農村整備事業工事工種積算体系」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種体系」に該当しない工種や用語については、業務担当員と協議するものとする。

### 5-4 リサイクル計画書

本業務において建設資材廃棄物の再資源化及び工事間利用の促進、リサイクル材の使用を検討しリサイクル計画書（別紙2）として取りまとめ提出すること。

## 6 その他

6-1 モバイルワークに関する試行 ~ 該当なし

6-2 その他

成果品納入時は、照査報告書に、検査項目が確認出来るよう必要事項を記入の上提出のこと。  
成果品納入時は、以下の項目に留意すること。

- ① 主要構造物等は設計図と現地を必ず合わせてチェックを行うこと。
- ② 構造物計算書には、各構造計算の結果を転記した図面番号、鉄筋番号を明記すること。
- ③ 現場施工上重要な必要事項については、適宜図面に記入すること。

## 7 成果品

### 7-1 提出すべき成果品

成果品の内容は、別紙「成果品の名称及び数量」によるものとし、完成時に「成果品目録」と名称を変更して提出すること。

また、成果品の納品形態が電子の場合は、備考欄に電子媒体の種類（CD-R・DVD-R等）を記載すること。

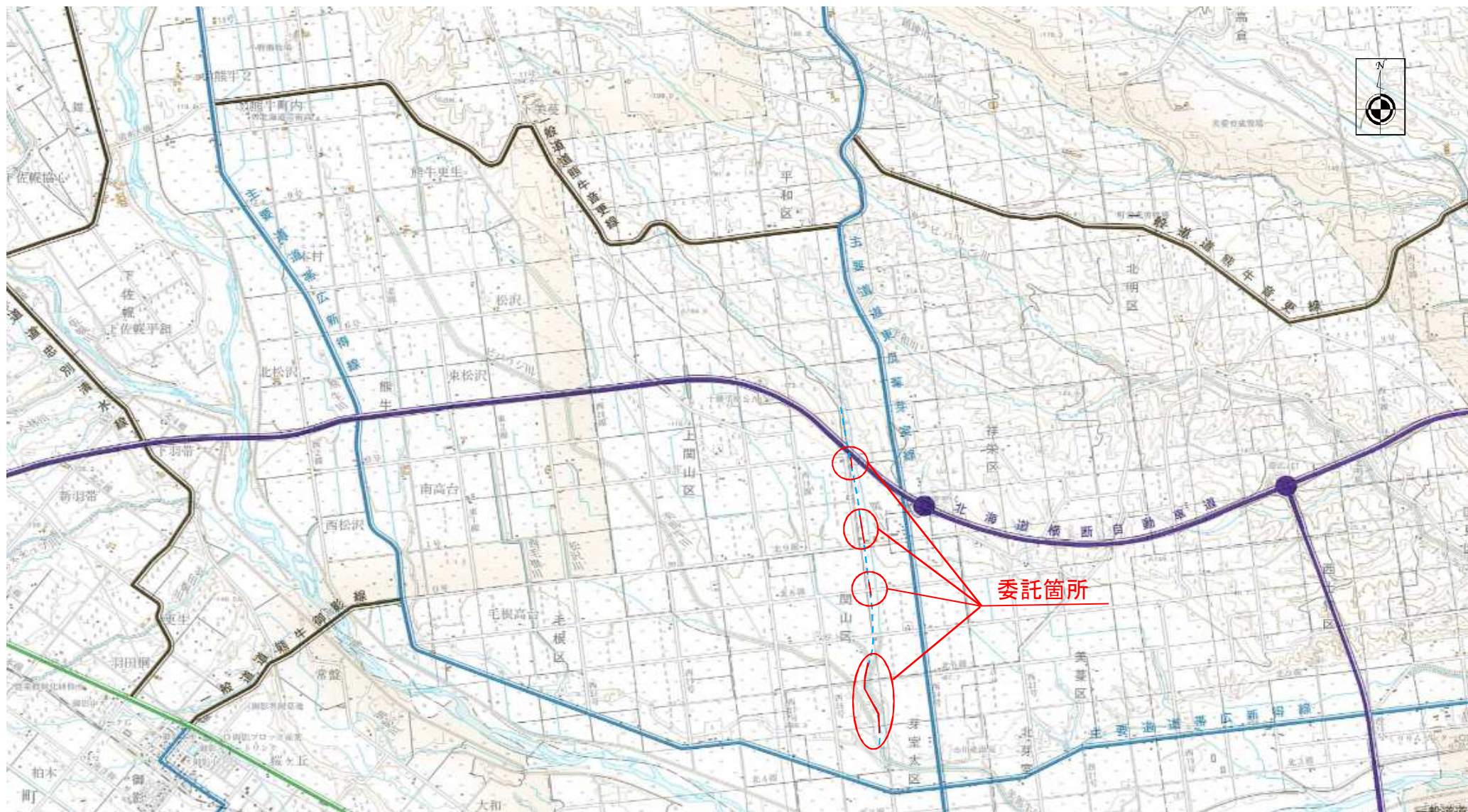
### 7-2 電子納品

- (1) 本業務は電子納品対象業務とする。電子納品の運用にあたっては、「農業農村整備事業電子納品運用の手引き(案)【業務編】」（以下「手引き」という。）に基づくものとし、業務担当員と協議のうえ、電子化の範囲等を決定しなければならない。
- (2) 成果品は、「設計業務等の電子納品要領(案)（農林水産省農村振興局、平成31年3月）」（以下、「要領」という。）に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R・DVD-R等）で正副2部提出する。  
「手引き」及び「要領」に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「手引き」及び「要領」の解釈に疑義がある場合は業務担当員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。なお、電子化の困難な資料及び打合せ簿、委託業務月報の押印された書類について、紙又は原図による成果品を1部納品する。また、A3判縮小の設計図を1部紙で納品する。
- (3) 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）によるチェックを行い、「要領」に準拠していることを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

## 8 設計変更

契約書第17条から第18条及び設計業務共通仕様書1-1-23の2の(3)に規定する委託者と受託者の協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 5 設計条件に示す「各条件」に変更が生じた場合。
- (2) 業務数量総括表に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 2-2に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 7-1に示す「成果品」に変更が生じた場合。
- (5) 関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合。
- (6) その他
- (7) (1)～(6)に伴い、業務期間の変更が生じた場合。





# 測 量 設 計 委 託 説 明 書

- 1 委 託 名 祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託
- 2 委託場所 芽室町 祥栄
- 3 工 期 自 令和 6年 6月28日  
至 令和 7年 3月14日

## 測 量 委 託 内 訳

### 測量調査

- ・ 基準点測量
- ・ 現地測量
- ・ 作業計画
- ・ 現地踏査
- ・ 中心線測量
- ・ 縦断測量
- ・ 横断測量

### 設計業務

- ・ 標準護岸更新詳細設計
- ・ 機能診断

平成36年度

手入力事業

祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

工 事 数 量 表  
【当初】

北海道

十勝総合振興局管内市町村 芽室町

## 工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接人件費～機械経費				
1. 基準点測量				
(1) 基準点測量				
基準点測量		式	1.000	
4級基準点測量	耕地, 平地	点	11.000	
2. 地形測量				
(1) 平面測量				
現地測量		式	1.000	
現地測量	0.012km <sup>2</sup> , 1/1,000, 平地, 耕地	式	1.000	
3. 応用測量				
(1) 路線測量				
路線測量		式	1.000	
路線測量 作業計画		業務	1.000	
路線測量 現地踏査	平地, 耕地	km	0.500	
路線測量 中心線測量	平地, 耕地, 10m	km	0.500	
路線測量 縦断測量	平地, 耕地	km	0.500	
路線測量 横断測量	平地, 耕地, 45m未満	km	0.500	
精度管理費				
1. 精度管理費				
(1) 精度管理費				
精度管理費__		式	1.000	
精度管理費集計		式	1.000	

## 工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接人件費				
1. 旅費交通費				
(1)旅費交通費				
旅費・交通費(直接人件費)_設計		式	1.000	
打合せ_(設計業務(基準日額))	$4 \leq L < 25\text{km}$	回	3.000	
(2)標準護岸				
排水路実施設計		式	1.000	
排水路 実施設計	$0.5\text{km}, Q < 1.0\text{m}^3/\text{s}$	式	1.000	
(3)機能診断				
機能診断		式	1.000	
現地踏査	線の構造物	km	0.500	
近接目視_線の構造物	線の構造物, $11,700\text{m}^2$	式	1.000	
機能診断 線の構造物	$0.5\text{km}$ , 開水路、暗渠	式	1.000	
直接経費				
1. 直接経費				
(1)直接経費				
旅費・交通費_(設計打合せ)		式	1.000	
打合せ_(設計業務(旅費・交通費))	$4 \leq L < 25\text{km}$	回	3.000	
旅費・交通費_(設計外業日帰り)		式	1.000	
旅費・交通費(設計外業日帰)		式	1.000	
電子計算機使用料_		式	1.000	
電子計算機使用料集計		式	1.000	



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

平成36年度

手入力事業

祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

# 金抜き設計書

(当初)





















事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	4級基準点測量		点		35.000	歩A 当たり算出
	4級基準点測量 耕地,平地			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)伐採	なし				
	2)地域区分	耕地				
	3)地形区分	平地				
	4)地域差による変化率	0.00				
	5)精度管理費計上区分	計上する				
	測量主任技師 内業	1.000	人			
	測量技師 内業	2.500	人			
	測量技師補 内業	2.500	人			
	測量助手 内業	1.000	人			
	測量技師 外業	5.500	人			
	測量技師補 外業	5.500	人			
	測量助手 外業	7.000	人			
	機械経費	0.030				
	通信運搬費等	0.030				
	材料費	0.025				
	合 計					算出数量 35.000 点
	単 価		点			
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					
	精度管理費	0.090				
	*** S単 - 2号 ***					
	現地測量		式		1.000	歩A 当たり算出
	現地測量 0.012km <sup>2</sup> ,1/1,000,平地,耕地			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)縮尺区分	1/1,000				
	2)地形区分	平地				
	3)地域区分	耕地				
	4)地域差による変化率	-0.10				
	5)精度管理費計上区分	計上する				
	6)作業量(A)	0.012km <sup>2</sup>				
	測量主任技師 内業	0.180	人			
	測量技師 内業	0.270	人			
	測量技師補 内業	0.270	人			
	小計					
	測量主任技師 内業	0.100	人			
	測量技師 内業	1.030	人			
	測量技師補 内業	2.660	人			
	測量技師 外業	2.030	人			
	測量技師補 外業	3.130	人			
	測量助手 外業	2.730	人			
	機械経費 6.5%	0.065				
	通信運搬費等 0.5%	0.005				
	材料費 2.0%	0.020				
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価					
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					

事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	精度管理費	0.050				
	*** S単 - 3号 ***					
	路線測量 作業計画		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	路線測量 作業計画			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分_	作業計画				
	測量主任技師 内業	0.600	人			
	測量技師 内業	0.900	人			
	測量技師補 内業	0.600	人			
	合計					算出数量 1.000 業務
	単 価		業務			
	*** S単 - 4号 ***					
	路線測量 現地踏査		km		1.000 km	歩A 当たり算出
	路線測量 現地踏査 平地,耕地			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地物区分_	耕地				
	2)地形区分_	平地				
	3)地形による変化率_	0.00				
	4)現場条件区分	1,000台未満/12時間				
	5)交通量による変化率_	0.00				
	測量技師 外業	1.600	人			
	測量技師補 外業	1.400	人			
	機械経費	2.0%				
	材料費	7.5%				
	合計					算出数量 1.000 km
	単 価		km			
	*** S単 - 5号 ***					
	路線測量 中心線測量		km		1.000 km	歩A 当たり算出
	路線測量 中心線測量 平地,耕地,10m			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地物区分_	耕地				
	2)地形区分_	平地				
	3)地形による変化率_	0.00				
	4)測点間隔区分	10m				
	5)現場条件区分	1,000台未満/12時間				
	6)交通量による変化率_	0.00				
	7)単曲線数区分	0				
	8)精度管理費計上区分_	計上する				
	測量技師 内業	2.160	人			
	測量技師補 内業	2.160	人			
	測量技師 外業	3.000	人			
	測量技師補 外業	3.360	人			
	測量助手 外業	2.640	人			
	機械経費	4.0%				
	材料費	6.0%				
	合計					算出数量 1.000 km
	単 価		km			
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					
	精度管理費	0.100				



事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 6号 ***					
	路線測量 縦断測量		km		1.000	歩A 当たり算出
	路線測量 縦断測量 平地_耕地			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地物区分_	耕地				
	2)地形区分_	平地				
	3)地形による変化率_	0.00				
	4)現場条件区分	1,000台未満/12時間				
	5)交通量による変化率_	0.00				
	6)精度管理費計上区分_	計上する				
	測量技師 内業	1.300	人			
	測量技師補 内業	1.100	人			
	測量助手 内業	0.500	人			
	測量技師 外業	1.600	人			
	測量技師補 外業	1.800	人			
	測量助手 外業	1.400	人			
	機械経費 2.5%	0.025				
	材料費 3.0%	0.030				
	合 計					算出数量 1.000 km
	単 価		km			
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					
	精度管理費	0.100				
	*** S単 - 7号 ***					
	路線測量 横断測量		km		1.000	歩A 当たり算出
	路線測量 横断測量 平地_耕地_45m未満			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地物区分_	耕地				
	2)地形区分_	平地				
	3)地形による変化率_	0.00				
	4)測点幅区分	45m未満				
	5)測点間隔区分	10m				
	6)現場条件区分	1,000台未満/12時間				
	7)交通量による変化率_	0.00				
	8)単曲線数区分	0				
	9)精度管理費計上区分_	計上する				
	測量技師 内業	5.850	人			
	測量技師補 内業	5.100	人			
	測量助手 内業	2.250	人			
	測量技師 外業	9.600	人			
	測量技師補 外業	10.800	人			
	測量助手 外業	7.950	人			
	機械経費 2.5%	0.025				
	材料費 3.0%	0.030				
	合 計					算出数量 1.000 km
	単 価		km			
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					
	精度管理費	0.100				





誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

平成36年度

手入力事業

祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

# 統一施工単価表













事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	4級基準点測量		点		35.000	歩A 当たり算出
	4級基準点測量 耕地,平地			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)伐採	なし				
	2)地域区分	耕地				
	3)地形区分	平地				
	4)地域差による変化率	0.00				
	5)精度管理費計上区分	計上する				
	測量主任技師 内業	1.000	人			
	測量技師 内業	2.500	人			
	測量技師補 内業	2.500	人			
	測量助手 内業	1.000	人			
	測量技師 外業	5.500	人			
	測量技師補 外業	5.500	人			
	測量助手 外業	7.000	人			
	機械経費	0.030				
	通信運搬費等	0.030				
	材料費	0.025				
	合 計					算出数量 35.000 点
	単 価		点			
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					
	精度管理費	0.090				
	*** S単 - 2号 ***					
	現地測量		式		1.000	歩A 当たり算出
	現地測量 0.012km <sup>2</sup> ,1/1,000,平地,耕地			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)縮尺区分	1/1,000				
	2)地形区分	平地				
	3)地域区分	耕地				
	4)地域差による変化率	-0.10				
	5)精度管理費計上区分	計上する				
	6)作業量(A)	0.012km <sup>2</sup>				
	測量主任技師 内業	0.180	人			
	測量技師 内業	0.270	人			
	測量技師補 内業	0.270	人			
	小計					
	測量主任技師 内業	0.100	人			
	測量技師 内業	1.030	人			
	測量技師補 内業	2.660	人			
	測量技師 外業	2.030	人			
	測量技師補 外業	3.130	人			
	測量助手 外業	2.730	人			
	機械経費 6.5%	0.065				
	通信運搬費等 0.5%	0.005				
	材料費 2.0%	0.020				
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価					
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					

事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	精度管理費	0.050				
	*** S単 - 3号 ***					
	路線測量 作業計画		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	路線測量 作業計画			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分_	作業計画				
	測量主任技師 内業	0.600	人			
	測量技師 内業	0.900	人			
	測量技師補 内業	0.600	人			
	合計					算出数量 1.000 業務
	単 価		業務			
	*** S単 - 4号 ***					
	路線測量 現地踏査		km		1.000 km	歩A 当たり算出
	路線測量 現地踏査 平地,耕地			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地物区分_	耕地				
	2)地形区分_	平地				
	3)地形による変化率_	0.00				
	4)現場条件区分	1,000台未満/12時間				
	5)交通量による変化率_	0.00				
	測量技師 外業	1.600	人			
	測量技師補 外業	1.400	人			
	機械経費					
	2.0%	0.020				
	材料費					
	7.5%	0.075				
	合計					算出数量 1.000 km
	単 価		km			
	*** S単 - 5号 ***					
	路線測量 中心線測量		km		1.000 km	歩A 当たり算出
	路線測量 中心線測量 平地,耕地,10m			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地物区分_	耕地				
	2)地形区分_	平地				
	3)地形による変化率_	0.00				
	4)測点間隔区分	10m				
	5)現場条件区分	1,000台未満/12時間				
	6)交通量による変化率_	0.00				
	7)単曲線数区分	0				
	8)精度管理費計上区分_	計上する				
	測量技師 内業	2.160	人			
	測量技師補 内業	2.160	人			
	測量技師 外業	3.000	人			
	測量技師補 外業	3.360	人			
	測量助手 外業	2.640	人			
	機械経費					
	4.0%	0.040				
	材料費					
	6.0%	0.060				
	合計					算出数量 1.000 km
	単 価		km			
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					
	精度管理費	0.100				

事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 6号 ***					
	路線測量 縦断測量		km		1.000	歩A 当たり算出
	路線測量 縦断測量 平地_耕地			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地物区分_	耕地				
	2)地形区分_	平地				
	3)地形による変化率_	0.00				
	4)現場条件区分	1,000台未満/12時間				
	5)交通量による変化率_	0.00				
	6)精度管理費計上区分_	計上する				
	測量技師 内業	1.300	人			
	測量技師補 内業	1.100	人			
	測量助手 内業	0.500	人			
	測量技師 外業	1.600	人			
	測量技師補 外業	1.800	人			
	測量助手 外業	1.400	人			
	機械経費 2.5%	0.025				
	材料費 3.0%	0.030				
	合 計					算出数量 1.000 km
	単 価		km			
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					
	精度管理費	0.100				
	*** S単 - 7号 ***					
	路線測量 横断測量		km		1.000	歩A 当たり算出
	路線測量 横断測量 平地_耕地_45m未満			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地物区分_	耕地				
	2)地形区分_	平地				
	3)地形による変化率_	0.00				
	4)測点幅区分	45m未満				
	5)測点間隔区分	10m				
	6)現場条件区分	1,000台未満/12時間				
	7)交通量による変化率_	0.00				
	8)単曲線数区分	0				
	9)精度管理費計上区分_	計上する				
	測量技師 内業	5.850	人			
	測量技師補 内業	5.100	人			
	測量助手 内業	2.250	人			
	測量技師 外業	9.600	人			
	測量技師補 外業	10.800	人			
	測量助手 外業	7.950	人			
	機械経費 2.5%	0.025				
	材料費 3.0%	0.030				
	合 計					算出数量 1.000 km
	単 価		km			
	以下は、計算のための明細であり合計には含まれない					
	精度管理費	0.100				







誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

平成36年度

手入力事業

祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

# 金額査定書

事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

工種名称 (調整前)	調整前工事費	数量	単位	工種名称 (調整後)	調整後工事費	数量	単位
委託業務価格				委託業務価格			
・消費税額		10.000	%	・消費税額		10.000	%
設計業務価格				設計業務価格			
・業務原価				・業務原価			
・直接原価				・直接原価			
・直接人件費				・直接人件費			
・直接経費				・直接経費			
・直接経費(電子成果品作成費)		3.163	%	・直接経費(電子成果品作成費)		3.163	%
・その他原価		53.850	%	・その他原価		53.850	%
・一般管理費等		53.850	%	・一般管理費等		53.850	%
				一般管理費調整額			
・その他				・その他			

















事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	排水路 実施設計		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	排水路 実施設計 0.5km, Q < 1.0m <sup>3</sup> /s			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)難易度補正区分	難易度補正				
	2)設計延長(L)	0.500km				
	3)複合設計区分	しない				
	4)流量区分(m <sup>3</sup> /s)	Q < 1.0m <sup>3</sup> /s				
	5)1. 現地調査	計上しない				
	6)2. 資料の検討	計上しない				
	7)3-1. 設計計画基本条件の検討	計上しない				
	8)3-2. 設計計画排水路タイプ・断面検討	計上しない				
	9)4-1. 水理検討水理計算	計上しない				
	10)4-2. 水理検討水理縦断面作成	計上しない				
	11)5. 構造計算	計上する				
	12)6. 構造図作成	計上する				
	13)7. 付帯構造物	計上しない				
	14)8. 平面縦断面作成	計上する				
	15)9. 土工図作成	計上する				
	16)10. 数量計算	計上する				
	17)11. 施工計画	計上する				
	18)12. 特別仕様書作成	計上する				
	19)13. 概算工事費積算	計上する				
	20)14. 総合検討	計上する				
	21)15. 照査	計上する				
	22)16. 点検取りまとめ	計上する				
	主任技師 内業		5.210 人			
	技師(A) 内業		7.780 人			
	技師(B) 内業		7.940 人			
	技師(C) 内業		10.590 人			
	技術員 内業		13.330 人			
	合計					算出数量 1.000 式
	単価			式		
	*** S単 - 2号 ***					
	現地踏査		km		1.000 日	歩A 当たり算出
	現地踏査 線の構造物			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)構造物区分	線の構造物				
	技師(A) 外業		1.000 人			
	技師(B) 外業		1.000 人			
	技術員 外業		1.000 人			
	機械経費		0.014			
	材料費		0.008			
	合計					算出数量 6.000 [各単位]
	単価			[各単位]		
	*** S単 - 3号 ***					
	近接目視 線の構造物		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	近接目視 線の構造物 線の構造物, 11,700m <sup>2</sup>			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)構造物区分	線の構造物				
	2)作業対象面積(A(m <sup>2</sup> ))	11,700m <sup>2</sup>				
	技師(B) 外業		7.900 人			
	技師(C) 外業		7.900 人			
	技術員 外業		7.900 人			
	機械経費 3.0%		0.030			
	材料費 2.0%		0.020			

事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計					算出数量 1.000 式
	単価		式			
	近接目視線の構造物					
	*** S単 - 4号 ***					
	機能診断線の構造物		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	機能診断線の構造物 0.5km,開水路、暗渠			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)設計対象延長(L)	0.500km				
	2)対象工種	開水路、暗渠				
	3)1.業務準備	計上しない				
	4)2-1.資料調査	計上しない				
	5)2-2.問診調査	計上する				
	6)3.施設機能の検討	計上しない				
	7)4.施設の重要度評価	計上しない				
	8)5.性能低下要因の推定	計上しない				
	9)6.水利・水理機能検討	計上しない				
	10)9.詳細調査計画立案	計上しない				
	11)10.健全度評価	計上する				
	12)11.性能低下予測	計上しない				
	13)12.管理水準の設定	計上しない				
	14)13.機能保全対策の検討	計上しない				
	15)14.機能保全コストの算定	計上しない				
	16)15.機能保全計画の策定	計上しない				
	17)16.農業水利スタッフ情報データの作成	計上しない				
	18)17.照査	計上しない				
	19)18.点検取りまとめ	計上する				
	主任技師 内業	1.130	人			
	技師(A) 内業	1.910	人			
	技師(B) 内業	1.480	人			
	技師(C) 内業	1.800	人			
	合計					算出数量 1.000 式
	単価		式			
	*** S単 - 5号 ***					
	打合せ(設計業務(旅費・交通費))		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務(旅費・交通費)) 4 L<25km			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)ライトバン行程(往復)区分	4 L<25km				
	2)主任技師編成人数	1人				
	3)技師(A)編成人数	1人				
	4)技師(B)編成人数	1人				
	5)技師(C)編成人数	0人				
	ライトバン 二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L	0.400	時間			
	ライトバン 二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日			
	ガソリン レギュラー 無鉛	1.100	L			
	合計					算出数量 1.000 回
	単価		回			
	*** S単 - 6号 ***					
	打合せ(設計業務(基準日額))		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務(基準日額)) 4 L<25km			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)ライトバン行程(往復)区分	4 L<25km				
	2)主任技師編成人数	1人				
	3)技師(A)編成人数	1人				
	4)技師(B)編成人数	1人				
	5)技師(C)編成人数	0人				
	主任技師	0.500	人			









誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

平成36年度

手入力事業

祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

# 統一施工単価表













事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工実施設計委託

[ ]排水路 実施設計

作業項目	歩掛数量 ( 上段：標準 下段：補正後 )								実施数量	距離補正	複合補正	難易度補					個別補正
	主技者	技師長	主技師	技師A	技師B	技師C	技術員	図工									
1.現地調査(外業)									1.00	0.85	1.00	1.00					1.00
2.資料の検討(内業)									1.00	0.95	1.00	1.00					1.00
3.設計計画									1.00	0.75	1.00	1.00					1.00
3-1.基本条件の検討(内業)									1.00	0.85	1.00	1.00					1.00
3-2.排水路タイプ及び断面形状の検討(内業)									1.00	0.85	1.00	1.00					1.00
4.水理検討									1.00	0.85	1.00	1.00					1.00
4-1.水理計算(内業)									1.00	0.85	1.00	1.00					1.00
4-2.水理縦断面作成(内業)									1.00	0.85	1.00	1.00					1.00
5.構造計算(内業)				1.70	1.70	1.70			1.00	0.80	1.00	1.00					1.00
				1.36	1.36	1.36											
6.構造図作成(内業)			0.70	1.50	2.20		2.60		1.00	0.80	1.00	1.00					1.00
			0.56	1.20	1.76		2.08										
7.付帯構造物(内業)									1.00	0.85	1.00	1.00					1.00
8.平面縦断面図作成(内業)				2.90	2.90	2.90	1.80		1.00	0.60	1.00	1.00					1.00
				1.74	1.74	1.74	1.08										
9.土工図作成(内業)					0.60	2.70	5.50		1.00	0.75	1.00	1.00					1.00
					0.45	2.03	4.13										
10.数量計算(内業)					1.60	3.00	4.70		1.00	0.80	1.00	1.00					1.00
						1.28	3.76										
11.施工計画(内業)			1.20	1.80		0.60	0.60		1.00	0.95	1.00	1.00					1.00
			1.14	1.71		0.57	0.57										
12.特別仕様書作成(内業)			0.60	0.60					1.00	0.95	1.00	1.00					1.00
			0.57	0.57													
13.概算工事費積算(内業)				0.70	1.50	1.50			1.00	0.90	1.00	1.00					1.00
				0.63	1.35	1.35											
14.総合検討(内業)			0.60						1.00	0.95	1.00	1.00					1.00
			0.57														
15.照査(内業)			1.80						1.00	1.00	1.00	1.00					1.00
			1.80														
16.点検取りまとめ(内業)			0.60	0.60		1.20	1.80		1.00	0.95	1.00	1.00					1.00
			0.57	0.57		1.14	1.71										
内業合計			5.50	9.80	10.50	13.60	17.00										
			5.21	7.78	7.94	10.59	13.33										
外業合計																	
合計			5.50	9.80	10.50	13.60	17.00										
			5.21	7.78	7.94	10.59	13.33										

事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

[ ]機能診断 線の構造物

作業項目	歩掛数量 ( 上段 : 標準 下段 : 補正後 )								実施数量	距離補正								個別補正
	主技者	技師長	主技師	技師A	技師B	技師C	技術員	図工										
1.業務準備(外業)									1.00	0.43								1.00
2.事前調査									1.00	0.70								1.00
2-1.資料調査(内業)																		1.00
2-2.問診調査(内業)				1.10	1.20				1.00	0.61								1.00
3.施設機能の検討(内業)				0.67	0.73				1.00	0.38								1.00
4.施設の重要度評価(内業)									1.00	1.00								1.00
5.性能低下要因の推定(内業)									1.00	0.47								1.00
6.水利・水理機能検討(内業)									1.00	0.21								1.00
9.詳細調査計画立案(内業)									1.00	0.60								1.00
10.健全度評価(内業)			0.30	1.00	1.10	1.50			1.00	0.68								1.00
11.性能低下予測(内業)			0.20	0.68	0.75	1.02			1.00	0.51								1.00
12.管理水準の設定(内業)									1.00	0.42								1.00
13.機能保全対策の検討(内業)									1.00	0.53								1.00
14.機能保全コストの算定(内業)									1.00	0.12								1.00
15.機能保全計画の策定(内業)									1.00	0.32								1.00
16.農業水利ストック情報データの作成(内業)									1.00	0.72								1.00
17.照査(内業)									1.00	1.00								1.00
18.点検取りまとめ(内業)			2.50	1.50		2.10			1.00	0.37								1.00
			0.93	0.56		0.78												1.00
内業合計			2.80	3.60	2.30	3.60												
			1.13	1.91	1.48	1.80												
外業合計																		
合計			2.80	3.60	2.30	3.60												
			1.13	1.91	1.48	1.80												





事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	排水路 実施設計		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	排水路 実施設計 0.5km, Q < 1.0m <sup>3</sup> /s			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)難易度補正区分	難易度補正				
	2)設計延長(L)	0.500km				
	3)複合設計区分	しない				
	4)流量区分(m <sup>3</sup> /s)	Q < 1.0m <sup>3</sup> /s				
	5)1. 現地調査	計上しない				
	6)2. 資料の検討	計上しない				
	7)3-1. 設計計画基本条件の検討	計上しない				
	8)3-2. 設計計画排水路タイプ・断面検討	計上しない				
	9)4-1. 水理検討水理計算	計上しない				
	10)4-2. 水理検討水理縦断面作成	計上しない				
	11)5. 構造計算	計上する				
	12)6. 構造図作成	計上する				
	13)7. 付帯構造物	計上しない				
	14)8. 平面縦断面作成	計上する				
	15)9. 土工図作成	計上する				
	16)10. 数量計算	計上する				
	17)11. 施工計画	計上する				
	18)12. 特別仕様書作成	計上する				
	19)13. 概算工事費積算	計上する				
	20)14. 総合検討	計上する				
	21)15. 照査	計上する				
	22)16. 点検取りまとめ	計上する				
	主任技師 内業		5.210 人			
	技師(A) 内業		7.780 人			
	技師(B) 内業		7.940 人			
	技師(C) 内業		10.590 人			
	技術員 内業		13.330 人			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価			式		
	*** S単 - 2号 ***					
	現地踏査		km		1.000 日	歩A 当たり算出
	現地踏査 線の構造物			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)構造物区分	線の構造物				
	技師(A) 外業		1.000 人			
	技師(B) 外業		1.000 人			
	技術員 外業		1.000 人			
	機械経費		0.014			
	材料費		0.008			
	合 計					算出数量 6.000 [各単位]
	単 価			[各単位]		
	*** S単 - 3号 ***					
	近接目視_線の構造物		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	近接目視_線の構造物 線の構造物, 11,700m <sup>2</sup>			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)構造物区分	線の構造物				
	2)作業対象面積(A(m <sup>2</sup> ))	11,700m <sup>2</sup>				
	技師(B) 外業		7.900 人			
	技師(C) 外業		7.900 人			
	技術員 外業		7.900 人			
	機械経費 3.0%		0.030			
	材料費 2.0%		0.020			

事業名	手入力事業
業務名	祥栄第2幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計					算出数量 1.000 式
	単価		式			
	近接目視線の構造物					
	*** S単 - 4号 ***					
	機能診断線の構造物		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	機能診断線の構造物 0.5km,開水路、暗渠			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)設計対象延長(L)	0.500km				
	2)対象工種	開水路、暗渠				
	3)1.業務準備	計上しない				
	4)2-1.資料調査	計上しない				
	5)2-2.問診調査	計上する				
	6)3.施設機能の検討	計上しない				
	7)4.施設の重要度評価	計上しない				
	8)5.性能低下要因の推定	計上しない				
	9)6.水利・水理機能検討	計上しない				
	10)9.詳細調査計画立案	計上しない				
	11)10.健全度評価	計上する				
	12)11.性能低下予測	計上しない				
	13)12.管理水準の設定	計上しない				
	14)13.機能保全対策の検討	計上しない				
	15)14.機能保全コストの算定	計上しない				
	16)15.機能保全計画の策定	計上しない				
	17)16.農業水利ストック情報データの作成	計上しない				
	18)17.照査	計上しない				
	19)18.点検取りまとめ	計上する				
	主任技師 内業	1.130	人			
	技師(A) 内業	1.910	人			
	技師(B) 内業	1.480	人			
	技師(C) 内業	1.800	人			
	合計					算出数量 1.000 式
	単価		式			
	*** S単 - 5号 ***					
	打合せ(設計業務(旅費・交通費))		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務(旅費・交通費)) 4 L<25km			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)ライトバン行程(往復)区分	4 L<25km				
	2)主任技師編成人数	1人				
	3)技師(A)編成人数	1人				
	4)技師(B)編成人数	1人				
	5)技師(C)編成人数	0人				
	ライトバン 二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L	0.400	時間			
	ライトバン 二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日			
	ガソリン レギュラー 無鉛	1.100	L			
	合計					算出数量 1.000 回
	単価		回			
	*** S単 - 6号 ***					
	打合せ(設計業務(基準日額))		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務(基準日額)) 4 L<25km			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)ライトバン行程(往復)区分	4 L<25km				
	2)主任技師編成人数	1人				
	3)技師(A)編成人数	1人				
	4)技師(B)編成人数	1人				
	5)技師(C)編成人数	0人				
	主任技師	0.500	人			







